

平成 22 年 4 月 1 日現在

研究種目：基盤研究(C)
 研究期間：2007 年度 ~ 2010 年度
 課題番号：19580165
 研究課題名（和文） 19 世紀以降の日欧米における林学・林政の展開過程
 -山地林管理を中心として-
 研究課題名（英文） Evolution of forest science and forest policy in Japan, Europe and the US after 19th century : focusing mountain forest management
 研究代表者 古井戸 宏通 (FURUIDO HIROMICHI)
 東京大学大学院農学生命科学研究科・准教授
 研究者番号：30353840

研究代表者の専門分野：林政学

科研費の分科・細目：林学・森林工学

キーワード：山地林、山林監守人、林野制度史、環境史、林業統計史

1. 研究計画の概要

ドイツ林学から派生した林学のヴァリエーションを、山地林管理の変遷という視点から統一的に分類整理・分析する。

2. 研究の進捗状況

間接経費等の予算上の制約、および、2007 年度において収集した諸論考、2008 年度において収集したドイツ語圏における関係資料等の示唆するところにより、19 世紀以降に於ける「山林監守人」の性格変化に焦点を絞って研究を続行した。

3. 現在までの達成度

当初の計画以上に進展している

(理由)

予算上の制約によりテーマを絞り込まざるを得なかったが、テーマの限定により研究の対象がより明確となり、かつ、私費による追加調査を行うことにより、調査先を特定し、フランスの Buttoud 教授、ニュージーランドの Ross 教授から有益な情報や協力を得ることができたため。

4. 今後の研究の推進方策

本年は、4 年間の研究のとりまとめに当たる。具体的な実施内容は以下の通りである。

- (1) 文献調査：補完的文献の収集および既存文献の整理を行う。
- (2) 研究のとりまとめ：研究会への参加や学会発表等を行い、関連分野の研究者とのディスカッションを通じ、内容を整序する。
- (3) 必要に応じ、現地訪問調査等を私費で行う。

5. 代表的な研究成果

(研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線)

〔雑誌論文〕(計 3 件)

古井戸宏通(2007)「フランス林政における『水と森林』の史的展開序説」『水資源・環境研究』20:73-86

山縣光晶・古井戸宏通(2007)「オーストリア・チロル州森林法 全訳(上)」『林業経済』60(9):17-30

山縣光晶・古井戸宏通(2008)「オーストリア・チロル州森林法 全訳(下)」『林業経済』60(10):18-30

A. PALETTO, C. SERENO, H. FURUIDO(2008) : Historical evolution of forest management in Europe and in Japan, *Bull. Tokyo Univ. For.* 119:25-44

山本美穂・古井戸宏通・鯨井祐士(2009)「フランス地域自然公園(PNR)40 年史」『林業経済』62(3):11-29

〔学会発表〕(計 0 件)

〔図書〕(計 2 件)

古井戸宏通(2009)「フランス林業統計の歴史と現状」, 農林統計協会(餅田 治之・志賀 和人編著『日本林業の構造変化とセンサス体系の再編 - 2005 年林業センサス分析 -』所収), pp. 45-53

古井戸宏通(2009)「フランス林業統計と森林勘定」, 河野正男・小口好昭編著『会計領域の拡大と会計概念フレームワーク』(中央大学経済研究所叢書 47) ~ 第 2 章, pp. 37-76

〔産業財産権〕

出願状況（計0件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

取得状況（計 件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕本研究の成果の一部を援用して、大学における教育活動の一部に反映させている。2008年度の「森林政策学演習」において、M.ドヴェーズ『森林の歴史』の輪読を行ったが、本研究によって得た成果を用いた注解を

<http://lecture.ecc.u-tokyo.ac.jp/~afuru/develop/develop.htm>

に示しており、このウェブサイトは受講生以外も閲覧可能な公開コンテンツとなっている。